



9月 行事予定 ~

日	曜	内 容
1	木	始業式
2	金	課題テスト(45分)①~⑤ 給食開始 委員会16:05~
5	月	朝会
6	火	45分授業 小中合同クーン作戦14:55~
7	水	④食に関する指導(2年)【学】 生徒議会
8	木	
9	金	
12	月	朝会 学費振替
13	火	
14	水	
15	木	ALT
16	金	
19	月	敬老の日(祝) 
20	火	45分授業 ②③保小中合同津波避難訓練
21	水	
22	木	秋分の日(祝)
23	金	保小中合同津波避難訓練(予備日) 生徒会役員選挙投票(昼・放課後)
26	月	朝会(石拾い)
27	火	
28	水	
29	木	ALT
30	金	生徒議会

※ ①や⑥などは、授業時間を表します。

明日、9月2日(金)は課題テストです。やり終えたテキストを見直しておこう! また、提出物も忘れないように準備しておこう。

①社 ②英 ③国 ④数 ⑤理 ⑥あけほの
(テスト時間は45分です。)

【生活のリズムは、大丈夫?】

40日余りの長い休みは、人を日常とは少し違った感覚の生活へ連れていきます。寝る時間、起きる時間、自由になる時間、ゆっくり食事をする時間……。リフレッシュには最適ですが、そればかりでは、能力が発揮できません。頭も体も、日常の感覚を取り戻すには時間がかかりそうです。今一度、気合いを入れ直して、2学期の学校生活に向かってほしいと思います。

中学校生活の「半分」が過ぎた…

夏休みが終わると、学校生活も一年の後半に入ります。林間学校がなつかしく感じるほどですね。次は、潮祭・合唱コンクールなどの行事に取り組む2学期です。早いもので、2年生という時代の約半分が過ぎたこととなります。

ところで、「2年生の約半分が過ぎた」ということは、大きく見れば「中学校生活の半分が過ぎた」ということでもあります。入学してから1年半が過ぎ、中学校生活も残り1年半となったわけで、言わばマラソンの折り返し点です。

マラソンは、人気のあるスポーツです。テレビ中継でも、2時間以上くぎ付けになってしまう人も多いようです。苦しい戦いのなか、選手たちは折り返し点ではどんなことを考えるのでしょうか。他国の強豪選手と争って走るなか、ペース配分やラストスパートのタイミングなど、素人にはわからない駆け引きがあるのでしょう。

一つ確かなのは、折り返し点でラストスパートをかける選手はいない、ということ。これならマラソンの素人でもわかります。短距離や中距離ならいざ知らず、長距離になるほど、前半はペースをつかみ、中盤にはキープ、後半でラストスパートをかける、というのが勝負の基本です。

疲れが出てくる中間の折り返し点で、自分のペースを守っていけるか。集団のペースに引きずられて、ずると後退していないか。速すぎるペースにつられて、息切れしていないか。周りに影響されず、自分の力にあったペース配分をすることが、マラソンを完走し、できるだけ上位をねらうテクニックなのです。

こう考えると、「マラソンは人生の縮図」というたとえがなるほどと思えてきます。テレビ中継でも人気があるのは、そんな理由からかもしれません。

見えないゴールをめざすとき

さて、内中2年生のみなさん。「マラソンは…」すなわち「…中学校生活の縮図」でもあります。中盤、折り返し点を過ぎた自分の走りを、今一度チェックしてみるとどうでしょう。

ずるずる後退している選手の中に入っていませんか。集団がみんな後退していると、選手はそれに気づかない。コーチが沿道から指示を出す。「ペースアップ! キープ! お前ならできる!」

今は疲れ、たるみがでて、つい力を抜きそうになるときです。こういう時期こそ、ペースをキープしなければいけません。1年半後、「卒業」という栄光のゴールをめざして…。